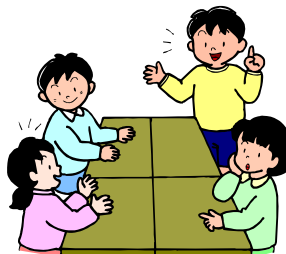


第3章 「キャリア教育」の教材



低学年

基本的な生活習慣

- No.1 どきどき 学校たんけん
- No.2 元気にそだて ～わたしのやさしい～
- No.3 みんなでまちたんけん
- No.4 大きくなった ぼく・わたし
- No.5 こんなこともできるよ ～お手伝い大作戦～

中学年

役割・協力

- No.6 係活動
- No.7 職場見学をしよう ～いろいろな仕事を知る～
- No.8 地域の清掃活動
- No.9 1/2成人式をしよう ～大人になるってどんなこと～

高学年

自己有用感・責任

- No.10 児童会活動 ～運動会/パワーアップ大作戦～
- No.11 高齢者施設を訪問しよう ～ボランティア活動～
- No.12 職場訪問 ～校区の職場から学ぶ～
- No.13 マイライフ、マイドリーム ～進路・将来の夢～

小学校 1・2年生 1学期 (規則正しい生活をする)

「 ときどき 学校たんけん 」

1) 取組みの視点

小学校に入学した1年生の児童が、一日も早く小学校生活に慣れ、適応することが大切である。学校探検で、学校にいる人に関心を持ち、進んで関わりを持ちながら、学校生活を送ることができるようになることは、自立への基礎を形成することにつながる。

2) 指導例

- ねらい
 - ・ 施設の見学、インタビューや聞き取りなどを通して、学校について知る。
 - ・ 学校で働く人たちと出会い、自分たちのために働いてくれていることに気づく。
 - ・ 学校について知ったことや発見したことを、クラスの友だち、保護者に伝える。

● 指導の流れ

知る (2時間)

- 「学校たんけんたい」の隊員となって、学校のことを知っていくという目的を持つ。
- 探検を成功させるために、一年生みんなで協力することを目標にする。
- 興味・関心を持つために、学校クイズをする。



調べる (学校探検) (1時間)

- 学校マップをもとに学校にはどんな建物や部屋があるか、調べる。
- 学校の先生や上級生、学校で働く人たちに出会い、学校についてインタビューする (ワークシート - 1 を活用)。



伝える (3時間)

- 学校探検で分かったこと、発見したことを友だちに伝える。
- 学級、学年集会で気づいたことを発表する。
- 保護者を招いて、気づいたことや学んだことを発表する。

3) 他の教育活動との関連

- 生活 (小学校学習指導要領 第2章第5節 生活 第2 各活動・学校行事の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2 内容 (1))
- 心のノート 『お世話になってます!』 (1,2 年用 84-87 頁)

4) その他 (補助教材等)

学校マップ

5) ワークシート等

(ワークシート - 1)

どきどき がっこう たんけん なまえ

■ せんせいに ききたい こと

〔1ねんせいのせんせい〕 〔2ねんせいのせんせい〕 〔3ねんせいのせんせい〕

〔4ねんせいのせんせい〕 〔5ねんせいのせんせい〕 〔6ねんせいのせんせい〕

■ インタビューをして おもった こと

小学校 1・2年生 2学期 (規則正しい生活をする)

「元気にそだて」～わたしのやさい～

1) 取組みの視点

野菜を種や苗から育て、水やりや観察、収穫などの体験をすることによって、自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にできるようにする。また、調理実習を行うことによって、調理する楽しさと自信を身に付け、普段の生活においても家事を手伝おうとする態度を養う。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 野菜の世話や観察を通して、自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にできるようにする。
- ・ 収穫する喜びをみんなと共有する。
- ・ いろいろな調理の仕方のあることを知り、調理計画を立てることができる。
- ・ 収穫祭を開き、自然の恵みに感謝し、みんなで楽しく食事をする。

● 指導の流れ

知る (1時間)

- 野菜の栽培の仕方を地域の人から教えてもらう。



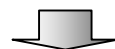
働く (1時間)

- 畑を耕し種や苗を植え、水やりや肥料などの世話をしながら、野菜の生長の様子を観察する (ワークシート - 1 を活用)。



調理する (3時間)

- 収穫した野菜を使ってできる料理を調べ、調理をして収穫祭を開く。



つながる (3時間)

- 野菜の成長の様子や世話、収穫などについて新聞等にまとめ、地域の人に発信する。



3) 他の教育活動との関連

- 生活 (小学校学習指導要領 第2章第5節 生活 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2 内容(7)、(8))
- 心のノート 『生きものをそだてよう』(1,2年用 60-61頁)
- 特別活動 (小学校学習指導要領 第6章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔学級活動〕 2 内容〔共通事項〕(2)エ)

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

やさいが できるまでの かんさつカード

ねん くみ なまえ ()

() がつ () にち () ようび () じかんめ

(絵)

.....

.....

.....

.....

小学校 1・2年生 2学期 (みんなと仲よくする)

「 みんなでまちたんけん 」

1) 取組みの視点

地域を見学し、身近な人々や地域に対して関心を高めることによって、自立への基礎を養う。また、グループ活動や協同的な学習活動によって、仲間と助け合い、仲よく活動できるようになる人間関係形成能力を育成することができる。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 校区には様々な施設があることを知る。
- ・ 校区に住む人々や施設に関わる人々と出会い、興味や関心を持つ。
- ・ 活動の中で、自分の役割を果たし、友だちの役割も知る。

● 指導の流れ

計画する (3時間)

- 「わたしのお勧めの場所はどこにあるでしょう？」クイズを行う (ワークシート - 1 を活用)。
- 一人一人のお勧めの場所を校区地図に書き込み、「手づくりまちマップ」をつくる。
- 「手づくりまちマップ」をもとに、校区探検を計画する (ワークシート - 2 を活用)。



調べる (3時間)

- 学校の周り、まちの中を探検する。
- まち探検で見つけたことや気づいたことなどをグループで交流する。



伝える (2時間)

- グループで交流したことをまとめ、クラスで発表する。



つながる (3時間)

- 再度校区に出かけ、校区に住む人々や施設に関わる人々にインタビューを行う。
- 探検で気づいた自分の役割や友だちの役割を確かめ、助け合って行動できたか振り返る。

3) 他の教育活動との関連

- 生活 (小学校学習指導要領 第2章第5節 生活 第2 各活動・学校行事の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2 内容 (3))
- 心のノート 『あなたがそだつ町』 (1,2 年用 88-91 頁)

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

おすすめスポット しょうかいカード

ねん くみ ()

ばしょ ()

(絵)

(紹介文)

(ワークシート - 2)

たんけんカード

ねん くみ なまえ ()

■ じぶんのもくひょう

■ みつけたばしょ

_____	_____
_____	_____

■ ふりかえってみよう (◎○△×)

グループのもくひょう	_____
_____	_____
_____	_____

■ がんばりをみつけよう

(じぶん)

.....

(友だち)

小学校 1・2年生 2学期 (みんなと仲よくする)

「大きくなったぼく・わたし」

1) 取組みの視点

自分自身の成長を振り返ることによって、自分でできるようになったことや自分の役割が増えたことなどが分かり、生活への意欲をはぐくむようにする。また、多くの人々の支えによって自分が大きくなったことを知り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをはぐくむことも大切である。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 自分の小さいころのことを家族に聞いて調べ、自分の成長と自分のよさを実感する。
- ・ 自分の成長の過程を知ること、生活への意欲をはぐくむ。
- ・ 多くの人々の支えによって自分が大きくなったことを知り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをはぐくむ。

● 指導の流れ

知る (4時間)

- いまの自分の等身大型紙を作り、2年生でできるようになったこと、がんばったことをカードに書いてはる。
- 誕生時の自分の等身大型紙を作り、いまの自分と比較する。
- できるようになったことを友達や家族に紹介して、感想を聞く。



調べる (5時間)

- 「ちいさいころのじぶんカード」を使って、自分の小さいころのことを家族に聞いて調べる (ワークシート - 1 を活用)。
- 自分の成長を物語にまとめ、友達と読み合っ、感想を書く。



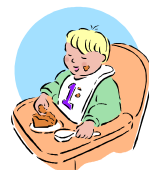
つながる (3時間)

- お世話になった人に対する「ありがとう集会」を計画し、実行する。



伝える (3時間)

- 3年生になったらがんばりたいことや、将来の夢や希望をまとめ、クラスで発表し、自分の物語に書き加える。



3) 他の教育活動との関連

- 生活 (小学校学習指導要領 第2章第5節 生活 第2 各活動・学校行事の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2 内容 (9))
- 心のノート 『ありがとうをさがそう』 (1,2 年用 48-51 頁)

『みんなみんな生きているよ』（1,2 年用 56-59 頁）

『がんばったよ うれしかったよ できるようになったよ』（1,2 年用 94-95 頁）

『家の人からの手紙』（1,2 年用 102-103 頁）

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

ちいさい ころの じぶんカード

ねん くみ ()

☆ じぶんで しらべた ことや、いえの ひとに きいたことを かいてみましょう。

(じぶんでかきましょう)

だい ()

(絵)

小学校 1年生 3学期 (約束やきまりを守る)

「こんなこともできるよ」～お手伝い大作戦～

1) 取組みの視点

子どもたちが家庭の中で、その一員としての役割を果たすことなどを通して、自分の良さや得意分野に気づき、日々の生活の中でそれを生かそうとする意欲や態度をもつようになることは、社会性の基礎を築く上で大切なことである。

また、小さい頃から身のまわりのことを自分でおこない、家庭生活面で自立ができるように促すことによって、男女が互いに協力し、共に家庭生活の担い手となる必要性を考えさせることは、男女共同参画社会の実現のために重要である。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 家の中にはいろいろな仕事があることに気づき、家族の一員として、男女が共に担っていかねばならない仕事のうち、自分にできることをやってみようという意識を持つ。
- ・ 家でのお手伝いを通して、家族の役に立てる、感謝されているという気持ちをはぐくむ。

● 指導の流れ

考える (1時間)

- 家庭にはどのような仕事があるか、どんな仕事が必要か話し合う。

* (予想される家庭での仕事内容)

買い物、食器洗い、米とぎ、食卓ふき、食器運び、茶わんや箸を並べること、ご飯をよそうこと掃除、料理、洗濯物の取り込み、洗濯物たたみ、風呂そうじ、花の水やり、新聞取り、肩たたき、布団しき、犬の散歩、水槽の水かえ、カーテンや雨戸の開閉、アイロンかけ、下の子の世話 など

- 家庭の仕事のなかで、どの仕事なら自分でもできるかを考え、お手伝いをする仕事の内容を決める。



つながる (1時間)

- お手伝い発表会を通して、家族の人に喜んでもらった経験を交流する(ワークシート ー 1 を活用)。

* どんなときに、なにをしたか。

* お家の人の気持ちはどうか、自分の気持ちはどうかを話す。



3) 他の教育活動との関連

- 生活 (小学校学習指導要領 第2章第5節 生活 第2 各活動・学校行事の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2 内容(2))
- 心のノート 『家ぞくが大すき』(1,2年用 80-83頁)

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

おうちのなかの しごとのたつじんを めざそう
 ねん くみ なまえ

■ まいにちひとつ、おうちのしごとに チャレンジしましょう。
 (◎ がんばれた ○ まあまあがんばれた △ あまりがんばれなかった)

	チャレンジしたしごと	じぶんのかんそう	がんばりチェック
月 日 よう日			
月 日 よう日			
月 日 よう日			
月 日 よう日			
月 日 よう日			

■ じぶんひとりで できましたか。

■ おてつだいは うまくいきましたか。

■ おうちひとは よろこんでくれましたか。

小学校 3・4年生 1学期 (よく考えて行動する)

「係活動」

1) 取組みの視点

学級生活を充実、向上させるために、自分ができる仕事を見つけ創意工夫しながら実践する係活動は、子どもの自主性や創造的な態度を育成することができる。また、見いだした仕事を自ら解決し、友達と協力して学級生活の充実、向上に寄与できた喜びは、自己有用感を育てるとともに、望ましい人間関係を築く態度を形成し、所属感を深め、社会性の育成を図ることにもつながる。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 学級生活を充実、向上するために、自ら意欲的に活動することができる。
- ・ 友達と協力して、創意工夫の素晴らしさを知る。
- ・ 組織的な活動と自主的な活動により、子ども一人一人の実践的な社会性が育つ。

● 指導の流れ

知る (2時間)

- どのような学級にしたいかを考え、一人ひとりの考えを発表し、話合う。
- 学級集団を維持する仕事としての当番活動と、学級生活をよりよくする仕事としての係活動の違いを知る。



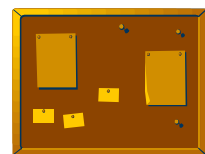
働く (2時間)

- どのような係が必要かを話し合い、そのなかから自分のやりたい係を見つける。
- 係の活動内容を考え、それを分担して協力する希望者を募る (ワークシート ー1 を活用)。
- 友だちと協力し、係の活動をはじめる。



伝える (2時間)

- 係の仕事を互いに発表し合い、お互いのよさや成果を認め合う。
- 係活動に対する要望を出し合い、その実現に向けて工夫し合う。
- 「係活動ふり返りカード」(ワークシート ー2を活用)を作成して、自分がおこなった係りの仕事を振り返る。



3) 他の教育活動との関連

- 心のノート 『みんなのために流すあせはとても美しい』(3,4年用 76-78頁)
- 特別活動 (小学校学習指導要領 第6章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔学級活動〕2内容〔共通事項〕(1)イ、(2)ウ・エ)

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

かかりのエントリーシート

年 ぐみ ()

かかりの名まえ ()	
やること	きてほしい 人ずう (人)
	こんな人あつまれ
	かかりいんの きめかた
(絵)	せんでん

係活動

- 1 係は、一人でいくつつくってもよい。また、一人でいくつの係に入ってもよい。
- 2 係を作ろうとする発案者は、
 - ① 係の活動内容を学級の人に説明する。
 - ② 係のメンバーを募り、募集人数、条件、メンバー決定の方法などを説明する。
 - ③ 後日、正式な係名、活動内容、メンバーを公表する。

(ワークシート - 2)

かかりかつどうふりかえりカード

年 ぐみ ()

かかりの名まえ ()	
かかりをしようと おもったわけ	さいごまでできたこと
かかりのしごとないよう	できなかったこと
そのなかで自分のしごと	かかりでなおして いきたいこと

小学校 3・4年生 2学期 (進んではたらく)

「 仕事場見学をしよう 」～いろいろな仕事を知る～

1) 取組みの視点

地域には、様々な工場やお店などの仕事場があることを知るとともに、人々の暮らしや生き方を学び、学習と将来の生き方との関係をつかむようにする。また、働くことの楽しさを知り、将来の夢を持ち、友達と協力して最後までやりぬこうとする態度を育てることが大切である。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 仕事場見学で働く人の姿にふれることを通して、働くことの楽しさや大切さを知る。
- ・ 自発的な活動や意欲を生かした学習を行い、友だちと協同して取り組む。
- ・ 仕事に関心を持ち、仕事を通して将来の生き方と学習との関わりを考える。

● 指導の流れ

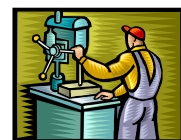
計画する (3時間)

- 様々な仕事をしている場面の写真を見て、感想を出し合う。(フォトランゲージ)
- 校区にある仕事場について知っていることを出し合い、仕事場マップを作成する。
- 仕事場見学の目標を設定し、学習計画を立てる(ワークシート - 1を活用)。



調べる (3時間)

- 仕事場見学での自分の目標を明確にして、仕事場へ見学に行く。
- 仕事場見学での観察をし、働く人の話を聞く。
- 見学をさせていただいたお礼や見学後の感想を述べる。
- 学校へ帰り、記録する(ワークシート - 2を活用)。



伝える (2時間)

- 仕事場見学で学んだことを報告し合い、交流する。
- 仕事について気づいたことを出し合い、仕事の大切さを共有する。



つながる (2時間)

- 学習でお世話になった校区の人々に学んだことを報告し、お礼を述べる。(感想文を渡す等も考えられる)



考える (1時間)

- 「読み物教材」の学習を通して、家の人の仕事について関心を持ち、仕事について自分が考えたことをまとめる。

3) 他の教育活動との関連

- 社会（小学校学習指導要領 第2章第5節 社会 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕2(2)）
- 心のノート 『みんなのために流すあせはとても美しい』（3,4年用 76-79頁）

4) その他（補助教材等）

写真（様々な仕事）：人権教育のための資料9（人権侵害と偏見 70頁）

5) ワークシート等

（ワークシート - 1）

職場見学目ひょうカード

年 組 ()

■ 見学させていただく職場
()

■ 自分の目ひょう

■ 職場の人への質問

（ワークシート - 2）

職場見学まとめカード

年 組 ()

■ 見学させていただいた職場
()

■ 仕事の内容

■ 仕事の喜びやきびしさ

■ 働く人の仕事への気持ち

■ 自分の感想や学んだこと

小学校 3・4年生 2学期 (きまりの意味を考える)

「地域の清掃活動」

1) 取組みの視点

地域で育つ子どもたちが継続的に地域清掃に取り組むことによって、普段の生活においても社会の一員としての役割を認識し、豊かな人間性や社会性を養うことが大切である。また、地域清掃活動などの社会体験によって、進んで社会との関わりを持とうとする態度を育てることも重要である。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 仲間と協力し、清掃活動を行うことができる。
- ・ 準備から後片付けまで、最後までやり切ることができる。
- ・ 学んだり、体験したことから普段の生活をふり返ることができる。

● 指導の流れ

考える (2時間)

- 継続的に地域のために少しでも役立つことができなにか考える。
- 地域清掃をする場所、清掃用具など準備するもの、集まったゴミの処理方法などを考える。



働く (1時間)

- 小グループに分かれて、ゴミを分別して清掃活動をおこなう (ワークシート - 1 を活用)。



つながる (2時間)

- 地域の清掃活動を通して、気づいたこと考えたことなどを広報やニュースで地域に発信する。



3) 他の教育活動との関連

- 総合的な学習の時間 (小学校学習指導要領 第5章 総合的な学習の時間 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3))
- 心のノート 『いまの自分をみがこう みんなの中で自分を生かそう』 (3,4年用 32-33頁)
『気持ちよくすごせるきまりやマナーを見つけよう』 (3,4年用 74-75頁)
- 特別活動 (小学校学習指導要領 第6章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔学校行事〕 2 内容 (5) 勤労生産・奉仕的行事)

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

地域清掃活動カード	
年 ぐみ ()	
() 月 () 日 () 曜日	
清掃場所 ()	
<p>■ 主に落ちていたゴミ</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
<p>■ 気づいたこと・考えたこと</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
<p>■ 生活のなかで気をつけたいこと</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

小学校 4年生 3学期 (自分のよい所をのぼす)

「1 / 2成人式をしよう」～大人になるってどんなこと～

1) 取組みの視点

10年間の自分の成長を振り返り、家族や周りの人々の思いにふれ、命の尊さを感じるとともに、感謝の気持ちを持つようにする。また、子どもたちが自分や友だちのよいところを理解し、将来に向けてよりよく生きていくために、責任感や夢・目標を持つことが大事であることをつかめるようにする。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 20歳になる卒業生から話を聞き、将来について考えるきっかけにする。
- ・ 保護者や周りの人々へのインタビューによって、自分に影響を与えた出来事を思い出し、自分の成長や命の大切さを実感することができる。
- ・ 自分の良さや個性に気づくとともに、友だちの良さを理解し、自分らしい生きかたについて考える。

● 指導の流れ

知る (1時間)

- 20歳の卒業生から直接話を聞き、将来について考えるきっかけを持つ。
- 20歳の自分をイメージするとともに、これまでの10年間を振り返ることを目標にする。



調べる・振り返る (2時間)

- 家族や周りの人々からのインタビューを行い、自分史の表を作成する(ワークシート ー 1 を活用)。
- 20歳の自分をイメージし、ドリームマップをつくる。



伝える (1時間)

- クラスで発表し合い、自分や友だちの良さに気づき、お互いの将来の夢について語り合う。



つながる (3時間)

- 保護者を招いての1 / 2成人式をどのような会にするか、話合う(ワークシート ー 2 を活用)。
- 一人ひとりの成長を喜び合い、将来を応援し合える、「1 / 2成人式」を開く。



3) 他の教育活動との関連

- 国語 (小学校学習指導要領 第2章第1節 国語 第2各学年の目標及び内容〔第3学年及び第

4学年] 2 内容A 話すこと・聞くこと(2))

- 心のノート 『みんなにささえられている』(3,4年用 48-51頁)
『わたしの成長を温かく見守り続けてくれる家族』(3,4年用 80-83頁)

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

	の自分史
<p>1 (生まれる前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お家の人の様子や気持ち <p>2 (生まれた時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様子、できごと ・ お家の人の思い <p>3 (小学校入学前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様子やできごと ・ 周りの人の思い 	<p>4 (小学校1年生から3年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様子、できごと ・ 友だちとのこと ・ 先生の思い出 ・ お家の人の思い <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 20px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のいいところ ○ これからの夢 </div>

(ワークシート - 2)

1. 開会のことば	()
2. 20歳の先輩からの話を聞いて	()
3. 自分史のプレゼンテーション	() () () () () () () () () ()
4. お家の人への手紙	() () ()
5. 保護者からのメッセージ	() () ()
6. みんなで歌おう	4年生全員と保護者
7. 閉会のことば	()

小学校 5・6年生 1学期 (相手の身になって考える)

「児童会活動」 ～運動会パワーアップ大作戦～

1) 取組みの視点

運動会は、児童が日常の学習や経験を総合的に発揮し、発展を図る教育活動であり、各教科では容易に得られない体験的な集団活動である。また、実施に至るまでの指導の過程を大切にするとともに、運動会の内容の一部を、児童の発意、発想を生かした計画によって実施したり、各委員会の活動内容を生かした協力的な活動を取り入れて実施したりするなど、児童自身のものでして実施することが大切である。

2) 指導例

● ねらい

- ・ よりよい運動会にしようとする意欲を持つ。
- ・ 運動会への取組みを通して、高学年としての自覚を持ち、責任を持ってやろうとする態度を身につける。
- ・ 地域の人たちとの交流を通して、思いやりの心をはぐくむ。

● 指導の流れ

考える (1時間)

- 児童会において、昨年度の運動会のビデオを見て、よかった点や改善すべき点を調べる (ワークシート - 1 を活用)。
- 児童会として、今年の運動会ではどのような役割を受け持ち、どのような活動をすればよいか話し合い、今年の運動会のスローガンを決定する。



伝える (1時間)

- 決定したスローガンを全校児童に伝え、それをもとに、各学級でも運動会のめあてを決める。
- 決定した各学級のめあてとそれに決めた理由について児童会新聞に掲載する。



振り返る (1時間)

- 運動会実施後、運動会の目標や役割分担などがうまくいったかどうか、児童会及び各学級で話合う。
- 日ごろの学校生活では気づかなかった友達のいいところを見つけ、その内容を学級新聞に掲載する (ワークシート - 2 を活用)。



3) 他の教育活動との関連

- 心のノート 『かかわり合いの中でわたしが、みんなが光っている』 (5,6年用 88-91頁)
- 特別活動 (小学校学習指導要領 第6章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔児童会活動〕 2 内容 (1))

4) その他（補助教材等）

- 昨年度の運動会のビデオ（子どもたちの様子、卒業した中学校1年生の役割を中心に編集しておく。）

5) ワークシート等

（ワークシート - 1）

<p>運動会パワーアップ作戦カード【児童会】</p> <p>年 ぐみ ()</p> <p>1 去年の運動会のビデオから</p> <p>(1)よかった点</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>(2)改善すべき点</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>2 児童会として、今年の運動会ではどんな役割を受け持ち、どんな活動をすればよいか。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>3 今年の運動会のスローガン</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--

（ワークシート - 2）

<p>友達のいいところ見つけカード</p> <p>年 ぐみ ()</p> <p>1 今年の運動会で、いつもの学校生活では気づかなかった友達のいいところを見つけて、下に書いてみましょう。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

小学校 5・6年生 2学期 (役割や責任を自覚する)

「高齢者施設を訪問しよう」～ボランティア活動～

1) 取組みの視点

身近なところで暮らしている高齢者と交流を持つ体験活動は、すべての人を個人として尊重し、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、共に生きる人間の育成をめざすものである。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 高齢者のさまざまな生活や生き方があることに気づき、福祉に対する理解と関心を深めることができる。
- ・ すべての人が社会の大切な存在として尊ばれ、他者への思いやりの心をはぐくむ。
- ・ 福祉に対する実践的態度を身につける。

● 指導の流れ

知る (4時間)

- 社会福祉協議会など地域の方から、まちの高齢者の実態や取組みについて話を聞く。
- 高齢者福祉施設を訪問し、生活の様子などを知る (ワークシート ー 1 を活用)。
- 特別な装具を使って高齢者擬似体験をし、身体機能が低下している状態を実感するなど高齢者への理解を深める。



つながる (3時間)

- 高齢者のために自分たちができることや喜んでもらえる活動を考え、ふれあい交流会を計画する。交流会の計画書は地域の方にも見てもらい、高齢者の立場に立ったふれあい交流会を行う。



伝える・働く (2時間)

- お世話になった地域の方や施設の方、高齢者の方にお礼の気持ちを伝えるために交流体験発表会を開く。
- これまでの活動をふり返り、地域社会に生きる一人として身近な人や社会のためになる活動を考え、毎日の生活のなかで自分自身のできそうな活動を行う。



3) 他の教育活動との関連

- 心のノート 『働くってどういうこと?』 (5,6年用 92-95頁)
- 総合的な学習の時間 (小学校学習指導要領 第5章 総合的な学習の時間 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3))
- 特別活動 (小学校学習指導要領 第6章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容 [学校行事] 2内容 (5) 勤労生産・奉仕的行事)

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

高齢者施設訪問カード 年 くみ ()	
1	訪問のねらい
2	日 時 平成()年()月()日 ()時()分から()時()分まで
3	訪問する内容
4	日 程
5	事前の活動 (準備)
6	事後の活動 (まとめ)

小学校 5・6年生 2学期 (家族や社会のためにはたらく)

「 職場訪問 」 ～校区の職場から学ぶ～

1) 取組みの視点

「働く」ということの持つ社会的・個人的な意義を理解することは、子どもたちが勤労観・職業観を身に付け、主体的に進路を選択・決定し、社会人・職業人として自立していくうえにおいて、大切なことである。

また、男性の仕事、女性の仕事という固定的な性別役割分担意識にとらわれず、男女がいろいろな仕事に就いている状況を知ることにも必要である。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 職場で働いている方々に直接出会うことにより、それぞれの生き方や仕事に対する考え方、世の中の状況などを知る。
- ・ 言葉遣いや態度に気をつけ、自分の気持ちを伝えたり、聞いたりすることができる。
- ・ 人のために働くことの意味や学ぶことの意味について考えることができる。

● 指導の流れ

決める (4時間)

- 校区地図やインターネット、電話帳などから職場訪問をする事業所を探し出す。
- 小グループごとに訪問先の事業所を決め、何を聞き取り、何を見てくるのか考える。
- 前もって電話で伺った後、小グループごとに見学先の事業所へ行き、見学の依頼をする。



調べる (2時間)

- 事業所を訪問し、働く方から「働く」ことの楽しさ、つらさ、その職業に就いた動機や仕事の内容などを聞き取る (ワークシート - 1 を活用)。



つながる (3時間)

- 学習したことをまとめ、保護者やお世話になった事業所の方に対する職場訪問報告会を開く。
- いろいろな職業が社会には必要であることを知り、人のために働くことの意味や学ぶことの意味について考える。



3) 他の教育活動との関連

- 社会 (小学校学習指導要領 第5章 総合的な学習の時間 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3))
- 心のノート 『働くってどういうこと?』 (5,6年用 92-95頁)
- 総合的な学習の時間 (小学校学習指導要領 第5章 総合的な学習の時間 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3))

4) ワークシート等

(ワークシート - 1)

職場訪問カード 年 くみ ()	
1	訪問した事業所や職業
2	その仕事に必要な資格や免許
3	勤務時間と仕事の内容
4	その仕事を選んだ理由
5	仕事の実際
6	仕事でつらいとき ア ある イ ない
7	仕事で楽しいこと、うれしいこと
8	仕事についてよかったこと
9	この仕事に向く性格や能力
10	小学生へのアドバイス

小学校 6年生 3学期 (夢や希望を持つ)

「マイライフ、マイドリーム」～進路・将来の夢～

1) 取組みの視点

卒業を目の前にした6年生が、中学入学にむけてどのような目標を持つのかを考える上で、あこがれとする将来の自分の姿をイメージすることは大切である。また、それにより、将来に夢や希望を持ち、それらの実現にむけて努力し、自分で選び判断できる、自己決定力をつけることが重要である。

2) 指導例

● ねらい

- ・ 各分野で活躍されている人々との様々な出会いを通して、仕事のやりがい、喜びを知り、自分の夢や目標とする生き方を見つける。
- ・ 取組みを通して、自分や友だちの良さ、可能性を発見し合い、自己効力感を育むとともに、未来への夢や希望を持つことができる態度と心をはぐくみ、目的意識を持った中学校生活につなげる。

● 指導の流れ

知る・調べる (2時間)

- 様々な職業を知るために、自分たちで調べたり、先生からの紹介を聞く(ワークシート ー 1 を活用)。
- グループで自分や友だちが向いている職業について話し合う。



見つめる (2時間)

- 様々な職業に就いている方々からのお話や、仕事疑似体験を通して、自分の将来設計をまとめてみる(ワークシート ー 2 を活用)。



伝える (1時間)

- クラスで発表し合い、お互いの将来の夢について語り合う。



つながる (2時間)

- 学年全体で学習発表会を行い、自分が中学校入学に向けてがんばりたいことなどを交流しあう。



3) 他の教育活動との関連

- 心のノート 『夢に届くまでのステップがある』(5,6年用 16-19頁)
『自分を見つめ はぐくみ とともに生きる』(5,6年用 118-121頁)
- 特別活動(小学校学習指導要領 第6章特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔学級活動〕 2 内容〔共通事項〕(2)ア)

4) その他（補助教材等）

教材文：「職業についてのお話」

作文：子どもの感想文

5) ワークシート等

（ワークシート - 1）

さまざまな職業を調べましょう		年 組 ()
■ 調べた職業	■ 調べたサイトや本	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	
■ 調べてわかったことをまとめましょう		
【 内容 】	【 職業につく方法など 】	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	
■ 活躍している人の話で心に残ったこと		
<input type="text"/>		
(仕事の喜び、やりがい、情熱や思いなど)		

（ワークシート - 2）

私の未来設計シート		年 組 ()
■ 自分の将来を想像してみましょう		
12 歳	15 歳	20 歳 30 歳 40 歳 50 歳 60 歳 70 歳 80 歳
小学 校 卒 業	→	中 学 校 卒 業

夢や志をはぐくむ教育 教師用指導書（小学校版）作成協力者

監	修	横山 利弘	関西学院大学教授
	同	藤永 芳純	大阪教育大学教授
	同		
	同	金光 靖樹	大阪教育大学准教授

教師用指導書作成委員

（道徳教育部会）

委	員	北堂 薫	高槻市教育委員会指導主事
	同	墨川 恵子	枚方市教育委員会指導主事
	同	澤 理佳	高石市教育委員会課長代理
	同	小山 昌二	忠岡町教育委員会参事
	同	川崎 雅也	貝塚市教育委員会課長補佐

調査研究協力校	枚方市立樟葉小学校
同	枚方市立殿山第二小学校
同	高石市立取石小学校
同	大阪市立新庄小学校

（キャリア教育部会）

調査研究協力校

同
同
同
同

協力市町村教育委員会

同
同
同
同

事務局 大阪府教育委員会



教育委員会事務局市町村教育室小中学校課 平成22年2月発行
〒540-8571 大阪市中央区大手前2丁目 / TEL 06 (6941) 0351

